

令和6年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490900741	事業の開始年月日	令和5年4月1日
		指定年月日	令和5年4月1日
法人名			
事業所名	グループホームみんなの家・横浜綱島		
所在地	(〒223-0052) 神奈川県横浜市港北区綱島東4-9-17		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員 計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和6年11月28日	評価結果 市町村受理日	令和7年3月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームみんなの家・横浜綱島は港北区綱島東にある活気のある街に位置しています。開所して1年半が経過しましたが地域に根ざした笑顔あふれるホームとなるように積極的に行事の開催したり、近隣との交流を増やしてきました。近隣の自治体に参加し、小学校の児童や地域包括センターの方との交流を通じてボランティアの受け入れを今年度から始動することが出来ました。近所の飲食店に家族とともに外食へ出かけたり、春には花見をしたりしました。グループホームとして地域との関わりを大切に運営しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町2-3 日土地山下町ビル9F		
訪問調査日	令和6年12月17日	評価機関 評価決定日	令和7年2月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の概要】 当事業所は、東急東横線日吉駅、もしくは東急新横浜線の新綱島駅から徒歩で20分弱、バス便も利用できるアクセスの良い場所にある。周辺は幹線道路に面して近年大規模マンションや大型の商業施設、外資系企業の本社などができ、町の様子も変わってきたが、事業所の裏手は、中低層マンションや、共同住宅、戸建等の住宅地が広がっている。 【地域に根差した活動の実現】 理念の「地域に根ざした笑顔あふれるホーム」の実現に向け、開所直後から管理者は利用者と一緒に公民館の集まりに参加をしたり、公民館の健康体操に協力する等して事業所の周知に努めてきた。今年度はその努力が実を結び、放課後倶楽部の指導員（先生）からの要望で、子供たちの訪問が実現した。敬老会やハロウィンにはダンスを披露したり、ゲームや双六をして、交流を楽しんでいる。民生委員、区の担当課職員、地域包括支援センター職員等の協力もあり、半期に1度公民館で運動教室を開催している。教室は、来年の2月には規模を拡大して新綱島駅直結の区民施設で開催する予定がある。「認知症カフェ」も地域包括支援センターの後押しで来年3月からスタートする予定にしている。 【利用者の自主性を生かしたケアの実践】 自分の意思や意見を言える利用者が多く、利用者の自主性を尊重して職員は手や口を出しすぎないケアを心掛けている。布パンツを使用して自立で排泄する方や、見守りで入浴する方が半数以上いる。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜綱島
ユニット名	1ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

事業所名	グループホームみんなの家・横浜綱島
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした笑顔あるホームの理念を掲げ、職員はその意向を十分に理解し日々の業務に協力遂行してくれています。	開所時に職員と話し合い作成した理念の実現に向け、管理者は会議の席や、日々の職員との会話の中で地域に根差した運営の大切さや、地域の方と交流を持つことが、利用者の社会性の維持に繋がることなどを話している。地域の民生委員や地域包括支援センターの職員と開設当初から関係構築に努め、今年度は、ボランティアの受け入れや、地域交流事業などが実現している。		
	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域包括支援センターの生活支援コーディネーターが地域と事業所を繋げている企画やボランティアの受け入れ窓口として情報提供してくれています。（傾聴ボランティア、尺八演奏など）	民生委員との繋がりで自治会への加入が実現している。利用者は、テラスでお茶を楽しんでいる時や、散歩時に近隣の方と挨拶を交わしたり、近隣小学校の児童の登下校時に声を掛けて話したりしている。事業所周辺の歩道の清掃に利用者と職員が協力している。開設時から理念の実現に向け、地域の自治会の行事や催し物などに参加をしてきた事で、地域との関係が構築され、今年度は、地域包括支援センターの紹介の傾聴ボランティアや、民生委員や法人の協力を得た地域交流事業の高齢者の健康づくり教室、地域の放課後倶楽部の先生からの依頼で子供達の来訪が実現するなど、様々な取り組みが始まっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	来年の3月にはじめて認知症カフェを開催しようと企画しています。地域包括さんへ情報提供済です。今後協力支援いただきながら運営していきます。			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員や地域包括支援センター職員に毎回来ていただきまして開催しています。こども110番や自治体加入については民生委員のご紹介にてつながりました	運営推進会議は民生委員、地域包括支援センター職員、管理者、利用者が参加をして2か月ごとに開催している。自治会や家族に参加を呼びかけてはいるが、まだ参加には至っていない。会議では事業所の活動報告や運営状況を伝えるほか、参加者からは地域の行事などの情報提供がある。来年3月から予定している「認知症カフェ」の開催に当たり意見交換をするなど双方向の会議となっている。	運営推進会議に自治会からの参加がないことを踏まえ、事業所の活動に理解を得られるように、自治会役員に運営推進会議の議事録等を送付し、継続的に参加の呼びかけることを期待します。また家族が参加しやすいように、家族会やイベントに合わせて開催する等、工夫をされる事を提案します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	半期に1度、横浜市港北区高齢・障害支援課職員と連絡を取り合いまして、地域とのつながりと社会貢献の意味合いで【いきいき元気づくりステーション】で運動教室を開催しています。次回来々2月開催予定	区の担当課職員や地区社会福祉協議会や民児協の役員等の協力もあり、公民館で行っている地域交流事業の運動教室を、来年の2月には最寄り駅に直結している区民施設で、大規模開催する予定になっている。来年3月から地域包括支援センターの協力を得て、事業所で認知症カフェの開催を予定している。今年度は、かねてから希望していたグループホーム連絡会の参加が実現し、情報交換などを行っている	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業員への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	定例で研修会を実施しています。イーケアラボを利用し動画の視聴と問題定義などを考えています。身体拘束がどのような場面で起こり得るのか考えて研修をしています	全職員が委員となり、身体拘束適正化委員会を2か月ごとに開催している。毎回法人から提示されるテーマに沿った動画を基に、参加者が問題と思われるケアや、解決方法などを話し合い、確認テストを行っている。当日参加できなかった職員はオンライン研修と議事録を確認し、研修報告書を提出している。比較的自立度が高い利用者が多いことや、職員間のコミュニケーションが良好なため、不適切ケアなどに至る前に協力をしてケアに当たっている。	自立度や判断能力などが比較的高い利用者が多いことを鑑み、常時フロアに施錠している現在の状態を、当日の状況に応じて、可能な限り、時間を決めた開錠など試みることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定例で研修会を実施しています。イーケアラボを利用し動画の視聴と問題定義などを考えています。日ごろから職員同士コミュニケーションを図り注意し合える関係性の構築と知識を得られるよう注意を払っています	虐待防止委員会は、身体拘束適正化委員会と交互に全職員が参加をして開催している。毎回法人から提示するテーマに沿った動画を視聴して虐待につながる不適切なケアなどについて話し合っている。研修は全職員が受講しやすいようにオンライン研修などを複数回実施し、報告書を法人に提出している。職員のストレスが虐待につながるとして、毎年法人がストレスチェックを行ったり、法人内に相談室や産業医に相談できる体制を整えている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修で出来るだけ参加し、職員だけでなく家族などにも助言したり活用できる場があれば説明できるよう務めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族様と契約書の読み合わせをするときには、必ずわからないことがないか最後に質疑の時間を設けています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に家族より話があった時はその時出勤の職員に共有するだけでなく、申し送りノートに記入。その後活かすようにしている	年2回家族会を行っている。家族の参加が多くあり、個々の要望（散歩、家事の手伝いを増やして欲しい等々）は出ているが、運営に関する要望などは特にない。施設が新しいため湿気対策をしっかりやって欲しいと要望があり、除湿対策を強化している。家族は、事業所のホームページでタイムリーに発信されるブログを楽しみにしている。また毎月の「ひと言通信」で居室担当者が利用者の医療や健康状態などを含めた近況を伝え、家族に喜ばれている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の言われたことはなるべくすぐに行動へ移すようにしている。勤務数が少ない職員などは出勤時にコミュニケーションを図り困っていることなどがないか、あれば傾聴しています	月に1回、フロアごとに職員会議を行っている。当日出勤ではない職員にも出来る限り参加を促している。ケアカンファレンスは別に行うこともあるが、状態変化等のある利用者の情報共有や意見交換をしてケアの統一を図っている。職員は、役割分担で物品の購入や備品の管理などを担っている。ホームページのブログの作成も徐々に職員に移行する予定にしている。現場での事案はリーダーを中心にボトムアップで行うようにと管理者は職員に伝え、必要があればアドバイスをしている。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個別面談を通じて話を聞いています。目標が明確な人には積極的に業務に遂行できるよう仕事を任せています。小さいことの悩みなどがストレスにもなりますので働く環境づくりには目を配っています	法人のキャリアアップ制度があり、目標設定を基に人事考課を兼ねた個人面談を年2回行っている。今年度は、処遇改善による昇給や、インセンティブ制度が導入され、ボーナスに反映される仕組みになっている。産休や育休、介護休暇、再雇用制度などの福利厚生面も整備されている。各フロアに休憩室があり、気分転換できる環境ができている。職員から仲間がよい、管理者にも話がしやすいなどの声がある。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修には積極的に参加してもらいます。知識がつくことで自信にもなり業務にも反映していると感じています	職員の目標設定を基に、職員は半期ごとに受講する研修や取得したい資格などを法人に提出している。初任者研修は法人の教育機関で受講、資格取得できる。職員は年間の研修計画に沿い受講し、研修報告書をWEB上で法人に提出している。今年度から生産性向上委員会を設置し、管理者、リーダー、ケアマネジャーが3か月ごとに事業所の課題や改善案、実施状況、職員の育成などを話し合っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域包括で得た情報をなるべく職員にも提供しています。ボランティアやキャラバンメイト活動も今後管理者以外のものが繋がるよう現在土台を作っているところです。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーションをとれるように職員の時間の確保をしています。業務にゆとりをもてるよう協力しています。直接知り得た情報は職員ノートに共有しみんなが同じ方向で支援できるよう努めます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	特に管理者が情報共有として電話で報告を行なっています。ご家族の話を聞くことをメインとしてこちらの意見を添えるようにしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今までの生活歴を聞いてなるべく居宅での生活の継続ができる様反映していきます。好きな物や事については特に意識してケアプランに反映できるようにしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お手伝いができることは積極的に参加して頂いています。孤立せず調和しながら居心地の良い空間づくりをしています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が心配している際には、職員管理者が間を繋ぐような関係性の維持につとめます。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅にある写真などを持ってきて思い出したり会話の糸口となるようにこちらでも関係性を維持しています	出来る限り、入居前からの生活習慣や趣味などが継続できるような支援をしている。毎朝自分で身支度をしてメイクをする方も複数名いる。衣服やアクセサリにも気を配る方も多い。毎朝決まった新聞を購読している2名は、株価を確認したり、クロスワードパズルを楽しんでいる。趣味の雑誌やパズルを読む方もいる。年末年始は帰宅する方や、週1回家族と近隣にある大型の商業施設に散歩がてら出かけ外食を楽しむ方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士がここはいいところ、この方は良い人でね。というようにお互い必要としたり助け合える関係性の構築ができる様支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつ来てもアットホームで迎えられる関係性を維持していきたいと思います。		
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	困っている事がないのか、不安なことがないか常に問題意識している。小さいことも解決すれば不安の解消になり笑顔が増えるため。本人の希望も尊重しています	自分の意思を伝えられる方がほとんどだが、意思表示や発語の少ない方も日常の会話から思いを引き出したり、仕草や行動などから推察する事もある。利用者と1対1になる散歩時や入浴時などには、困っていることや不安に思うことは無いかなど本音を聞き取る機会としている。聞き取った内容は申し送りで伝えたり、タブレットの24時間シートのケア記録に記入して共有し、必要な場合は、介護計画に反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	好きなことが継続できるような環境づくりをしています。個々のケアに着目して自分の穏やかな生活ができる空間づくりをしています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	主にリビングで過ごすことが多いですが、体調など考慮し臥床時間の確保をしている方もいます		
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング	ケアマネが作成したプランをみんなで共有して方向性	新規の介護計画は、2か月で見直しをしているが、通常は短期目標6ヶ月、長期目標1年で見直し	24時間シートに記入されたケア内容が、介護計画書のサービス内容を反映

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	このほかに、共有して方向性をひとつに会議を行なっています	ケア記録は、通常は短期目標、中期目標、長期目標で実施している。状態変化等が生じた場合は、随時見直しをしている。その際に、計画作成担当者が前回の介護計画を基に家族に希望を聞き、現況を家族に説明をして見直しをしている。現状、タブレットの24時間シートが介護計画のサービス内容と連動した記録になっていないため、日々のルーティン業務の記録簿になっている。	ケア記録は、通常は短期目標、中期目標、長期目標で実施したケア記録ではなく、日々のルーティン業務の記録になっています。ケア記録をモニタリングに生かすためにも利用者の個別ケアに沿った内容の記載方法を再度検討される事を期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日ごらの変化を記録に落とし込み職員みんなに共有しています。ケアマネに情報提供することとても大切な事なので誰もが閲覧できる連絡ノートにも共有しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々の能力やニーズには出来るだけ伸ばすようにしています。主に食事洗濯掃除などに関しては自立支援を促しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	綱島は環境に恵まれているので散歩をしたり、公園、飲食店などに定期的に行き暮らしが豊かになるように援助しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	体調などに不安がある方は ムンテラなどをして本人や 家族の不安を拭うよう繋げ ています	協力医療機関の訪問診療（内科医）を利用者全員 が月2回受診している。外部の専門科には家族が 付き添い受診して、受診結果を24時間シートに記 録している。協力医は24時間オンコール体制で対 応してくれる。訪問歯科医と利用者全員が契約を している。歯科衛生士が週1回の口腔ケア、歯科 医師が月2回必要な治療に訪れている。系列の訪 問看護ステーションの看護師が週1回来所し、利 用者の健康管理や職員からの医療面の相談に応じ ている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	身近に相談出来たり話せる 存在として位置してくれて います。職員も気軽に相談 しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行ってい ます	医療機関とは管理者が電話 で連絡を取り合っていま す。担当看護師とは関係性 の構築につとめています		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に看取りについ ての話をしております。ど のような支援をしていくの かを確認し、こちらから助 言などご本人様の情報提供 をしたうえでご家族様へ話 しています	契約時に利用者が重度化した場合や、看取り介護 について事業所の方針を説明をして同意を得てい る。昨年度までは救急搬送された方等は、いな かったが、現在重度化が進み、1名の方が看取り 介護となっている。看取り介護マニュアルが整備 され、重度化や看取り介護の研修を毎年実施して いる。経験のない職員もできる限り不安のないケ アを行えるように指導している。	夜勤専従職員の勤務状態も様々で、研 修の受講が未実施です。夜勤者に合わ せた研修時間の設定や、オンライン研 修での受講などを取り入れることを期 待します。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応などはAED訓練などを通じて定期的に研修を開催しています		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定例研修にて、自分の役割を把握して実際に想定した避難訓練を実施しています	浸水想定区域に指定されているため、今年度は8月にBCPに沿い、夜間の浸水と火災を想定した総合訓練を行っている。当日は、利用者も参加をして2階への垂直避難と消火器を使った訓練を行った。年明けには、消防署の立ち会いでの訓練を行う予定にしている。災害用備蓄は、米や缶詰等のローリングストックの他に、「防災用備蓄一覧」を作成し、飲料水、食品等の備蓄、熱源、発電機、防寒用品、日用品等の備品類を事業所内と屋上の倉庫に保管している。	非常災害時の避難場所が地区センターになっていますが、事業所から遠いことや、状況変化による利用者の不安等が想定されるため、再検討されることを期待します。また地域との相互協力体制の構築に向け、運営推進会議で話し合いを持たれることを提案します。また昨年度の懸案事項になっている事業所内の家具や家電の転倒、飛び出し等の対策の実施を期待します。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いが気になった場合にはお互いに注意できるような関係性を維持しています。また管理者に報告してもらっています	利用者の尊厳を重視した接遇を目標に、法人の研修で複数回接遇研修を行っている。また個人情報保護の観点からブログへの顔出しについて家族の了解を得ている方のみとしており、他の方の顔には、加工している。利用者の呼称は名字にさん付けにしているが、同性の名字の方がいる場合は、家族の了解を得て下の名前で呼んでいる。パソコンやタブレットは個人IDやパスワードで管理している。個人情報を含む書類は施錠管理をしている。通院などで保険証等を持ち出す際は、記録簿に記載している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分で選択肢が多く持てるような機会を増やしています。食事レクや散歩など		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の過ごし方はパターン化してしまうのですが天気の良い日などが外気浴やテラスでお茶するなど提案させてもらっています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自身で洋服を選びアクセサリを付けたりして楽しまれています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に1、2回は食事レクを実施して季節の食べ物を提供しています。一緒に作ったりして楽しみを増やしています。	毎日の食事は3食とも委託業者から配達されたチルド食（おかず類）を湯煎で温め、ご飯と汁物は職員が調理して提供している。時には利用者と一緒に餃子や焼きそばを作り楽しむこともある。今年は近くの蕎麦屋や回転ずしに職員、家族も一緒に出かけている。外食は家族にも声を掛け、一緒に楽しむことを心掛けている。クリスマスや行事には、利用者の希望でチキンや寿司等をテイクアウトしている。誕生日やクリスマスにはケーキを購入して祝っている。おやつレクで、プリンやカステラに生クリームや果物を飾り付けて、楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お茶を残す方がいるので、家族が持参したものを提供したり事業所に販売に来る乳酸菌飲料を飲用していただき工夫しています。食事形態は職員で刻み、ペーストなどで食べやすいように調理します		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科の助言などを参考に口腔ケアにつとめています。自立の人でも汚れがひどいことがあったため個別支援としてケアしています		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	立位が取れない方には2名介助を実施し、立位困難でも座位の確保ができる方には本人の意思も尊重し気持ちよく排便を促せる様になっています。	各フロアにトイレは3か所、そのうち2か所は車いす対応で広く、お湯の出る手洗いや、オストメイト対応のトイレもある。利用者の排泄の自立度が高く、布パンツを使用して自立でトイレに行く方が2フロア合わせて10名近くいる。夜間は安心のためにパッドを使用する方もいるが、ほとんどの方が、布パンツで過ごしている。その他の方はリハビリパンツやパッドを個々の排泄事情に合わせて使用している。看取り介護の方は夜間はオムツを使用するが、日中はリハビリパンツにパッドを使用し、2名介助でトイレで排泄をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳酸菌飲料、牛乳などを用いています。家族の協力もあり現状維持できています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には決まった割り振りですが、入浴の拒否があった場合や今は入りたくないと言った際は日を変更するなどして強制しないように本人の意思を尊重します	浴室、脱衣場、洗濯室が扉を隔て繋がっており、隣のトイレからも直接入れる仕様になっている。浴室暖房機、脱衣場にはエアコンが施され、冬場のヒートショック対策をしている。2階にリフト浴設備があり、浴槽を跨げない方も湯船に浸かっている。入浴は週2回、午前中に3名程が入っている。入浴を好まない方はいないが、その時の気分で「今日はいい」と言うこともあるため、無理強いないで時間をおき声を掛け誘導している。約半数の方が見守り支援で、入浴できている。利用者は季節の柚子湯や入浴剤の入った湯、職員との会話を楽しみながら入浴している。化粧をしている利用者が多いため、職員がクレンジングで化粧を落とす手伝いをしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく気持ちの良い睡眠確保ができるよう日中は運動や歌、外気浴を取り入れています。無理に眠れないときは寄り添い見守っています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	協力医療機関と薬剤師に助言を頂きながら勉強しています。何かわからないことがあれば薬剤師に聞いて対応しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞を読んだり、読書をしたり、日記を書いたり個人の趣味を尊重しています。お手伝いが好きな人には役割を与えて感謝を述べるようにしています		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気浴や散歩をしてほしいなどは聞かれています。中には家族が本人と散歩へ行かれている方もいらっします。管理者がいるときは、お買い物ついでに散歩をするようにしています	すぐ近くの大型商業施設に散歩を兼ねて買い物に出かけたり、家族が面会に来た際には外食を楽しむ方もいる。車いすの方も事業所前の歩道を花を見ながら散歩したり、春には近くの公園に桜を見に出かけている。日常的にテラスで外気浴をしながらお茶を楽しんでいる。地域の自治会館の催し物などに出かける方もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様の現金の持ち込みはしておりません。代行買い物を実施しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族と電話をする機会をつくっています。特に自宅が気になったり家に帰りたいと申し出があった方		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁紙には四季を感じて頂ける作品づくりを一緒にしています。比較的新しい建物なので清潔にきれいに使用しています。24時間ウイルス等の菌を除去ができるナノイーを稼働させています。	テラスに面した採光がよく明るいリビングは、加湿器や空気清浄機を設置して感染症対策をしている。新しい施設で設備面も充実しており、壁面が消火器収納になっていたり、随所に歩行の妨げにならないような配慮がある。対面式のキッチンからリビングを見渡せ、見守りがしやすい。リビングの壁面や廊下の入り口には季節の飾りが施されている。訪問日も玄関にはクリスマスツリー、リビングには利用者が作成した貼り絵の樅木、色とりどりのモールを飾って、季節感を演出していた。利用者はおしゃべりをしたり、テレビを見たりしながらゆったりとした時間を過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間においては仲間、いいひとたち居心地の良い空間づくりを意識しテーブルや座席の配置を工夫しています		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使用していた家具などを持参いただき居心地の良い空間で過ごしていただいております	居室には介護用ベッド、クローゼット、ローチェスト、エアコン、照明、防災カーテン、洗面台が備えられている。洗面台で朝の身支度や化粧をする方も数名いる。利用者は自宅から使い慣れた家具類や生活用品、趣味のパズル等を持ち込み、家族の写真や縫いぐるみ等を飾り、思い思いの部屋にしている。居室の掃除をする方もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	役割があり感謝されるとうれしくて存在意義を感じている方がいらっしゃいます。そのような方が少しでも増える様個別ケアを考えていきます		

目 標 達 成 計 画

事業所名

GH横浜綱島

作成日

令和7年3月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	現状地域交流を継続するためにどんなことをしていくのが良いか	事業所の行事を通じて地域に開かれた事業所にするべく、何かのイベントと合わせて地域への開示を行う。（避難訓練炊き出し、夏祭り、バザー）	地域の人が継続参加しやすいように年行事として定着したイベントを実施する。民生委員に周知してもらえよう告知広告をつくる	3ヶ月
2	4	運営推進会議においては、特定の人物が参加している傾向にある。関わりのある方々に参加してもらうにはどうすればいいか	ボランティア、地域の老人クラブ、GH連絡会、同業の事業所長などに参加してもらえるように呼び掛ける	一度お会いしている方を中心に開催1か月前にはお知らせの用紙を配布に参加の可否を伺う	2か月
3	35	避難訓練時、自分の役割どんな動きをしていいかわからず混乱することが想定できるため、役割を決めておく	勤務配置の役割＋管理者、リーダーなど割り当てを作成する	年の災害訓練時にきちんと実施できるよう事前に役割を決めておく	1か月
4	43	トイレ誘導のタイミングや排泄頻度による調整。トイレに消耗品のパッドなどの保管方法	個人によって声掛けや時間管理すると同時に、適切なパッドの利用をする。細分化してみる	定時トイレ誘導以外に、臥床時、起床時など個人によってトイレ誘導時間を細かく分ける。トイレはプライバシーの場所なので名前を配慮し収納を作る	2週間

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。